

平成29年度第1回若葉区支え合いのまち推進協議会議事要旨

1 日 時 平成29年6月23日（金）10時00分～12時00分

2 場 所 若葉保健福祉センター3階 大会議室

3 出席者

- (1) 委員 赤間委員、市原委員、江口委員、小川委員、大嶋委員、尾出委員
角田委員、加藤委員、菊次委員、小出委員、立野委員、田中委員
津田委員、鶴岡委員、畑委員、畑山委員、布施委員、松野委員
真鍋委員、山内委員、飯塚代理
- (2) 事務局 青木区長、石原保健福祉センター所長、金澤社協区事務所長
岡本地域づくり支援室長、志賀地域福祉課補佐、田中高齢障害支援課主査
鈴木社協区事務所主査補、井崎社協区事務所主任主事
丹下高齢障害支援課主任主事、島野地域福祉課主事、山本高齢障害支援課

4 議題

- (1) 第4期若葉区支え合いのまち推進計画素案について
(2) 第4期若葉区支え合いのまち推進計画の重点取組項目の選定について（中間報告）
(3) 事例報告について

5 その他

- (1) 本年度のスケジュールについて
(2) 推進協だよりについて

6 議事の概要

- (1) 第4期若葉区支え合いのまち推進計画素案について
第4期若葉区支え合いのまち推進計画素案について、田中主査より説明した。
- (2) 第4期若葉区支え合いのまち推進計画の重点取組項目の選定について（中間報告）
第4期若葉区支え合いのまち推進計画の重点取組項目の選定の中間報告について、
田中主査、金澤事務所長より説明した。
- (3) 事例報告について
事例報告について、江口委員より説明した。
- (4) 本年度のスケジュールについて
本年度のスケジュールについて、田中主査より説明した。
- (5) 推進協だよりについて
推進協だよりについて、鈴木主査補より説明した。

7 会議経過

- (1) 開会（事務局）
(2) 開会挨拶（若葉区長、津田委員長）
(3) 議事

○委員長

それでは、議題（１）第４期若葉区支え合いのまち推進計画素案について、事務局から説明をお願いしたい。

○事務局

第４期若葉区支え合いのまち推進計画素案については、平成２８年度第４回推進協議会でも提示してあるが、第３期若葉区地域福祉計画を踏襲し、継続性を確保するものとなっている。

超高齢化社会になる中、既に若葉区では千葉市で高齢化率が最も高く深刻な問題なっているため、現在の基本理念に、高齢者が住み慣れた地域で、心豊かに安心して暮らし続けられるように、地域での支え合いを広めるための仕組みづくりが重要な課題というものを追記した。

次に第４期千葉市推進計画の中で、地域包括ケアシステムを推進する仕組みを取り入れるというものがあるため、各団体との連携していく上で、あんしんケアセンターが重要となってくるため、団体に追記した。

また、施策の方向性として「人材を発掘し活用する」と「支え合う仕組みをつくる」というものであったが、一本化し、「支え合う仕組みをつくる」とした。

具体的な取り組みについては、各社協地区部会エリアから報告されたものを追記していく。

○委員長

ただいまの説明に対し、何か質問等があれば、発言をお願いしたい。

○委員

第４期若葉区支え合い推進計画は第３期計画を踏襲するということであるが、背景を再度教えてほしい。

○事務局

千葉市支え合いのまち千葉推進計画（全体）の施策において、地域住民や団体等に計画をより一層浸透・定着させるため、第３期計画の体系を踏襲し継続性を確保するということから区計画においても踏襲することとなった。

○委員長

次に議題（２）第４期若葉区支え合いのまち推進計画の重点取組項目の選定について（中間報告）、事務局から説明をお願いしたい。

○事務局

第４期若葉区支え合いのまち推進計画の重点取組項目の選定について、中間報告する。

平成２９年４月１０日に各社協地区部会エリアに重点取組項目選定依頼をした選定結果を取りまとめた。

選定する基本テーマとしては５項目、施策の方向性は１３項目、取組項目は２０項目となっている中、各地区部会エリアから合計５０個の取組項目が選定された。

仕組み１「だれもが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう」では、各地区部会エリアから取組項目として５０％近く選定された。

次に、主な具体的な取組例を報告する。

２６地区部会エリアでは、ラジオ体操の実施場所を増やす、ふれあい食事会の参加促進と

しており、第3期計画を継続し拡充していく。

坂月地区部会エリアは新規取組として、歩こう会、グランドゴルフ大会に加え、映画会、落語会等の行事を増やす。

加曽利地区部会エリアからは、地区部会、福祉施設の交流の場となるふれあいバザー、そば打ち交流会、デイサービスの慰問活動の充実や福祉施設の将来構想への参画である。

小倉地区部会エリアでは、ふれあい・いきいきサロンを増やすとしているが、男性の高齢者の参加が少ないといったことから、周知の徹底、声かけを密にすること、内容を充実させる。

千城台小地区部会エリアでは、自治会の枠を超えた人の関係づくりの場として、年1回の歩こう会、歌声喫茶等を開催する。

御成台、千城台西・北地区部会エリアでは、地区部会が認知症予防や介護予防の講習会等を実施する。また、各自治会に対して、健康増進の講習会等のサポートを行う。

結・みつわ台地区部会エリアでは、地区部会で、地域活動のボランティア登録を受け付け、活動の紹介をする仕組み（人材バンク）をつくる、各種講座等の出席者へのアンケートを活用するなどしてボランティア参加意思のある人達のリストを作成し行事予定等を知らせて参加機会を作り、バンク化する。

貝塚地区部会エリアでは、町内自治会と民生・児童委員や福祉活動推進員が情報交換や懇親会を定期的実施。福祉の課題を共有する。

桜木地区部会エリアでは、地区部会内での見守り活動の各町内自治会へ、新規で体制づくりをする。

千城台東南・金親地区部会エリアは、あんしんケアセンター千城台と連携して、地域の関係団体と交流する機会を作りたい。

更科地区部会エリアでは、昔からの住民が大半を占めている地区で、災害時には自治会で「炊き出し」など実施されているが、今後隣接町内との連携も考えていきたい。

都賀地区部会エリアでは、高齢者の日常生活面のライフライン（命綱・救命策）となる施設・機関・組織・店舗などを日常生活支援サービス「訪問診療・訪問看護」「居宅介護サービス」「認知症高齢者支援サービス」「介護保険外のサービス」「高齢者向け施設」の分類のダイジェスト版を作成し、地区内の家庭に配布するといった都賀地区生活便利帳の作成である。

若松地区部会エリアでは、若松高校における子育てサロンの後、生徒に向け、社会福祉協議会の構成メンバーによる地域の福祉活動について紹介する。

○委員長

ただいまの報告に対し、何か質問等があれば、発言をお願いしたい。

○委員

20項目の取組項目で選定がない項目があるが、検討した地区部会エリアはあるのか。

○委員長

例えば障害のある方の社会参加という項目があるが、誰もが参加してほしいという考えから特に取り上げていない。

○事務局

今回選定がない項目については、3期計画で重点項目として終了したというエリアもあり、今回の4期計画では選定しなかった結果である。

○委員

地区部会エリアの中で選定し報告はしたが、今回が正式決定とは認識していないがどうか。

○事務局

今回は案であり正式決定ではない。8月末までに変更等あれば申し出ほしい。

○委員長

次に議題（3）事例報告について、加曽利地区部会より活動報告をお願いしたい。

○委員

加曽利地区部会エリアは、7自治会の2,300世帯であり、数と人数的にまとまりやすい地区である。

高齢化率は30.75%と非常に高く、75歳以上は14.59%とかなり高齢者がいる。

高齢者をどのように支くきっかけとして福祉ふれあいバザーを開催するに至った。

実施にあたり、バザーを実施した団体に調査、聞き取りをした。

始めに実行委員会を立ち上げ、委員会議を7回実施した。当日のバザー内容、チラシはどうするかなど検討した。

バザーは3つの広場として、福祉コーナーは介護、健康部門。ふれあいの場は野菜や花、食品コーナーを設け、子どもお楽しみ広場では竹細工、射的遊びを設けた。

ボランティアの把握をするため社協より紹介を受け、東京情報大学の生徒、加曽利中学、デザインの専門学校の生徒のボランティアを募ったところ、東京情報大学15名、加曽利中学9名、デザインの専門学校の生徒4名が集まった。

東京情報大学の生徒は周辺整備として案内・設営、加曽利中学の生徒は人集めや売り子さん、デザイン専門の生徒さんはネイルを500円で実施、評判が良く並んでいた。

バザー収支として75,000円となり、使い道を役員会で検討。一部収支金をイベント用の椅子の購入にあてた。

社協は何をしているのかという声もあるので、反省も含め今年もバザーを計画している。

今年も実施するので、コミュニティーの場としていけるよう、実行委員会議を実施し計画している。

○委員長

ただいまの報告に対し、何か質問等があれば、発言をお願いしたい。

○委員

小倉地区部会エリアでもバザーを実施しているが、地区からの提供品を提供している。

売れ残りの物が出た場合、別の機会を提供している。ふれあい広場での残り物はどうしているか。

○委員

衣類関係は、千葉刑務所に提供。野菜は各ボランティアに提供。食器関係は次年度へ提供した。

○委員

介護相談の状況はどうであったか。

○委員

認知症の判定器での認知症判定が出来た。

機械が無い場合でもゲーム感覚で判定が出来たり、興味が持てる内容が出来たら良いと考える。

○委員

健康相談はどうしたか。行政は快く承諾してくれたか。

○委員

行政が快く受け入れてくれた。

○委員

今回のふれあいバザーの周知としてはチラシを配り、朝日新聞、読売新聞、また地域へ投函をしたことで周知が出来た。

反省点は、何人ぐらいがバザーに来たかを把握できなかったもので、次回は抽選会などして人数は把握をしていきたい。

○委員長

他になれば、その他（１）本年度のスケジュールについて事務局から説明お願いしたい。

○事務局

本年度は推進協議会を年４回３か月おきに実施予定、推進協だよりは年２回発行予定である。

○委員長

それでは、その他（２）推進協だよりについて事務局から説明お願いしたい。

○事務局

推進協だより掲載依頼書であるが、地域情報を共有するため、どんな活動でも良いので、情報提供をいただきたい。

○委員長

他になれば、本日の議題はこれで終了する。

○事務局

本日の会議の議事要旨は約１か月後、市のホームページに掲載を予定している。

次回の開催日程は、９月の後半頃を予定。日程が決まったら、委員の皆様には改めて案内する。

以上で、第１回若葉区支え合いのまち推進協議会を終了する。